

第1回特別職報酬等審議会会議要旨（要約）

- 1 日 時 平成30年10月10日（水）午後1時30分～午後3時30分
- 2 場 所 さぬき市役所3階303会議室
- 3 出席者 [委 員] 奈良委員、佐々木委員、松本委員、寒川委員、頼富委員、
山西委員、筒井委員、長谷委員
[事務局] 向井総務部長、中川総務課長、井出係長、淀谷主任主事
[関係課] 多田予算調整室長、冨田秘書広報課長、山崎副主幹
[傍聴者] なし

4 会議次第

- 1 委嘱状交付
- 2 副市長あいさつ
- 3 委員自己紹介
- 4 議事
 - (1) 会長・会長職務代理の選任について
 - (2) 諮問書の交付
 - (3) 会議の進め方について（全体のスケジュール、本日の議事進行）
 - (4) さぬき市の特別職の報酬について
- 5 その他
次回の会議について

5 配付資料

- ・平成30年度さぬき市特別職報酬等審議会委員名簿
- ・さぬき市特別職報酬等審議会条例
- ・附属機関等の会議の公開の考え方
- ・さぬき市情報公開条例（抜粋）
- ・さぬき市の財政状況
- ・消費者物価指数の動き
- ・特別職の給料及び報酬の現状、改定経過等
- ・類似団体の状況
- ・県下8市特別職の給料及び報酬の現状
- ・一般職の給料等の現状、推移等
- ・特別職と一般職の給与の比較
- ・さぬき市議会の会議開催状況

6 会議の内容は次のとおりである。

発言者	意見概要
事務局	<p>それでは、みなさんお揃いのようなので、ただいまから平成30年度第1回さぬき市特別職報酬等審議会を開催します。</p> <p>会議に先立ちまして、本審議会における会議の公開等の取扱いについて説明させていただきます。本市におきましては、「附属機関等の委員の構成及び会議の公開に関する指針」に基づき、特別の事由がない限り、会議を公開することとしており、今回のように新たに設置された審議会の最初の会議は、指針の公開基準に沿って、「公開」とさせていただいております。ただ、今後の会議の取扱いにつきましては、「公開」、非公開に係る部分を除いて公開する「原則公開」、「非公開」のいずれとするか、委員の皆さまのご意見に従って決定したいと思っております。今後の会議の取扱いについて、いかがいたしましょうか。</p>
事務局	<p>特に、先ほどの説明からすると非公開にする意味合いはないので、可能であれば、「公開」とさせていただきたいが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>
事務局	<p>それでは、今後の本審議会の会議を「公開」とさせていただきますので、よろしく申し上げます。</p> <p>続きまして、委嘱状の交付に移ります。菊池副市長から皆様方に委嘱状をお渡しします。</p> <p>〈副市長から各委員に対し、委嘱状を交付〉</p> <p>それでは、続きまして、菊池副市長から御挨拶を申し上げます。</p>
副市長	<p>改めまして、皆さんこんにちは。今年は、例年に比べて、台風が非常に多く、今日も名残と言いますか、すっきりした天気ではございませんけれども、めっきり過ごしやすくなりまして、いよいよ季節の変わり目が来たといった感じが致しております。</p> <p>委員の皆様には、公私御多忙の中、当審議会にご出席いただき、またさ</p>

	<p>ぬき市特別職報酬等審議会の委員をお引き受けいただきまして、誠にありがとうございました。先ほど、皆様方には、委嘱状を交付させていただきましたが、前回この審議会が開催されましたのが、ちょうど3年前の平成27年10月に開催しております。この時は、教育委員会の制度が少し変わりました、教育長と教育委員長を一つにした教育長が、法律改正と共に誕生した関係で、教育長の給料と併せて、議員、市長、副市長の給与等についても一緒にご審議していただくという経緯があります。</p> <p>この度の審議会につきましては、4月に市長の選挙がありまして、新しい任期も始まっているということでございますので、特に市長の任期中に大きな状況変化がない限り、基本的に任期中に一度は、特別職報酬等審議会を開いて、皆様方にご審議いただくということを原則としておりますので、開催しております。</p> <p>後程、事務局の方からこれまでの経緯やさぬき市と分類上よく似た類似団体の資料、いろいろな側面から御検討いただきまして、忌憚のない御意見を頂戴したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。</p>
事務局	<p>議事に入ります前に、今回が第1回目の会議となり、初顔合わせとなりますので、委員の皆さまに簡単に自己紹介をお願いします。</p> <p>〈各委員自己紹介〉 〈事務局自己紹介〉 〈関係課職員自己紹介〉</p>
事務局	<p>続きまして、「会長・会長職務代理の選任について」であります。さぬき市特別職報酬等審議会条例第4条第1項に「審議会に会長を置き、委員の互選により定める。」となっておりますが、どのようにいたしましょうか。</p>
委員	<p>事務局の案がありましたらお示してください。</p>
事務局	<p>そうしましたら、事務局の案を申し上げさせていただきます。事務局としては、奈良委員さんに会長をお願いしたいと思っておりますがいかがでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし。</p>

事務局	<p>それでは、異議なしの声をいただきましたので、奈良委員さんに会長をお願いしたいと思います。</p> <p>続きまして、会長に事故等があるとき、その職務を代理する職務代理の選任に移りますが、規定により、「あらかじめ、会長の指定する委員がその職務を代理する」とありますので、会長から御指名をお願いします。</p>
会長	<p>それでは、佐々木委員さんをお願いしたいと思います。</p>
事務局	<p>会長に奈良委員さん、職務代理に佐々木委員さんをお願いします。</p> <p>改めまして、お二人から御挨拶をお願いします。</p> <p>〈会長、会長職務代理のあいさつ〉</p>
事務局	<p>会長と会長職務代理が決まりましたので、ここで、菊池副市長から会長に諮問書をお渡しいたします。</p> <p>〈諮問書を朗読、手渡し〉</p> <p>〈各委員に諮問書の写しを配布〉</p> <p>〈副市長退席〉</p>
事務局	<p>このあとの議事進行につきましては、会長をお願いします。</p>
会長	<p>それでは、次第に沿って、議事4（3）「会議の進め方について」になります。進め方についていろいろあると思いますが、まず事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>まず、この審議会の全体のスケジュールですが、もし、特別職報酬額の改定が答申され、改定を行うこととなる場合は、市議会12月定例会に議案を上程することが想定されますので、それを想定しますと、最終の会議を、10月末までには開催できればと考えており、それまでの間で、審議状況にもよりますが、本日を含めて2～3回程度の会議の開催を想定しております。</p> <p>次に、本日の会議の進め方ですが、関連がありますので、お手元の資料について一括して、順次説明させていただきたいと思います。</p> <p>その後、資料の説明に関する質疑をお受けした後、まず3役の給料についての御審議をお願いしたいと思います。進行具合にもよりますが、議員の報酬に関しては、次回の会議で御審議をお願いしたいと思います。</p> <p>また、本審議会の所掌事項外ではありますが、教育委員の報酬額につ</p>

	<p>いても次回の会議にてご意見をお伺いしたいと考えていますので、よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>それでは、本題でありますさぬき市の特別職報酬についての審議に入ります。先ほど説明がありましたが、市長、副市長、教育長、議員、副議長、議長の方々の報酬額がこれでいいのかと言う大きな使命を背負っていますので、それを十分踏まえまして、慎重な議論をお願いしたいと思います。それでは、事務局から、資料について順次説明をお願いします。</p>
事務局	<p>〈配布資料に基づき、さぬき市の財政状況、特別職の給料及び報酬の改定経過、類似団体及び県内8市特別職の給料及び報酬の現状、一般職の給料等の現状、新しい教育委員会制度、議会の会議開催状況等の説明〉</p>
会長	<p>ただ今の説明につきまして、何か御質問等はございませんか。</p>
委員	<p>資料7頁に財政調整基金を17億円取り崩すという表現があるが、何のお金か。家計簿でいうと何にあたるのか。何に使う予定のお金か。</p>
予算調整室	<p>財政調整基金は、家庭でいうと一般的にいう貯金の部分。他にも基金はあり、防災基金、教育文化振興基金などがあるが、そういったものには、各目的がある。財政調整基金には、その目的をあまり持たない若しくは、災害時にすぐに出せるお金というふうに解釈してください。</p>
委員	<p>それは取り崩してはいけないのでは？</p>
予算調整室	<p>取り崩せば、当然貯金が減るが、平成29年度末で、本市の財政調整基金が、約74億円あり、それを平成30年度予算で約17億円既に取り崩して、予算に充当しており、貯金を取り崩して、予算を立てている状況であると言うことで解釈してください。</p>
委員	<p>かなり厳しい状況ということですね。</p>
予算調整室	<p>平成30年度については、平成29年度までが合併特例措置の期間であり、平成29年度で合併特例債が最終ということで、かなり大規模な普</p>

	<p>通建設事業、分庁舎をはじめ、統合小学校、認定こども園、大川広域の消防の関係などを全て実施したため、その事業に使用した、若しくは、その後、特例債が使用できなくなったために、市の借金である起債で充当できなくなった部分をその基金で埋めた予算となっている。これまで毎年、財政調整基金は、10億円程度取り崩していたが、平成30年度は、17億という過去最高額を取り崩している状態である。</p>
委員	<p>取り崩して使用したあと、補填する能力はあるのか。</p>
予算調整室	<p>これまでの状況を見ると、普通交付税の方で減額が少なかったこともあり、その上澄みをずっと基金として積立ててきたところではあるが、今の段階で17億円が元に戻るということは、厳しい状況と考える。</p>
委員	<p>7頁に「大型普通建設事業が終了したことに伴う公債費負担の増加」というのと「今後の財政見通しで、整備に伴う公債費負担の増大」とあり、終了したという文言からだ、終了すれば出すお金が少なくなるイメージだが、「負担が増える」というのは、まだまだ分庁舎・学校施設等の整備が続くような表現だが、この表現の整合性、理由をお伺いしたい。</p>
予算調整室	<p>先ほども申し上げたが、大型普通建設事業の方は、平成29年度に分庁舎をはじめ小学校の整備を開始したが、現在も予算を繰り越して事業を行っており、まだ、お金の支払いが終了していない。</p> <p>本年度その支払いが終わった段階で、市債である合併特例債を借り入れ、平成31年度以降に返済していかなければならないため、今まで公債費を抑えてきたが、その分が借金として増えてくる。また、防災減災対策として、防災行政無線の整備も現在続いており、平成31年度以降も防災減災に関しては、一定の予算を要し、それに関しても、市債という市の借金部分が増え、公債費が増えていくという意味である。</p>
委員	<p>工事は終了したけども、お金の支払いがこれからどんどん出てくるという意味か。</p>
予算調整室	<p>そういう意味になる。</p> <p>支払いをするときは、起債なので、借金をして、借入をして、支払は終了しているが、借金を返していくのに市のお金が必要になるという意味である。</p>

委員	9頁の経常収支比率の意味合いが、「市税、地方交付税など毎年経常的に収入される一般財源が、義務的経費にあたる人件費や扶助費、公債費など毎年固定的に支出される経常的歳出にどの程度充当されているかを示す比率」ということで、7頁の数字で計算すると、92.7%では、計算が合わないが、分母と分子は何か。単純に140億で100億であれば、75%で健全な気がするが、歳出に占める人件費の割合の計算は合っていた。
会長	数字でいうと何ですか。
事務局	7頁に記載している表の中だけで、すぐにこれでという数値ではないので、細かい数字を用意するので、お待ちください。 経常的経費と言うのは、義務的経費が主たるものではあるが、その他の経費の中で物件費、繰出金、補助金等、毎年ある程度経常的に支出するものも経常収支比率に含まれるため、プラスαがあると考えてください。
会長	細かい数字を示してもらう間に他の委員さんで何かございますか。
委員	2点 お伺いしたい。 7頁の義務的経費の扶助費は、毎年増加傾向だが、今後どのような推移になるのか。今後も増えていくのか。
予算調整室	扶助費については、今後も増加傾向にあると思われ、生活保護費だけではないが、生活保護費の増加の上り幅が一番大きい状況である。
委員	平成26年度の市長の報酬で、7月～9月までの3箇月間20%の減額をしているが、これは、附帯決議に係る責任を明確にするためと説明にあるが、これはどのような意味か。責任を取ったということか。
事務局	志度中学校の改修をしており、当初予算で見積もっていた予算額・内容に対して、6月の補正予算だったと記憶しているが、当初予算とは、かなり異なる内容の補正予算を提出したことについて、議会からおかしいのではないか？との指摘があり、市長が自ら責任を取って、給与を減額するとの措置をとったものである。
委員	最高責任者として、月額18万円減額したという意味か。

事務局	はい。
委員	どのくらい予算がオーバーしたのか。
事務局	建物が2階から3階になるなど当初の予定からかなりの変更があり、大きな額だったと記憶している。
会長	他にはございますか。
委員	<p>14頁の類似団体の枠組みだが、次の15頁以降すべてに影響してくるので、ここだけ確認させてください。</p> <p>さぬき市は、Ⅱ-2になっているが、それは、5年毎の人口統計によるのがのだが、現段階で、住民基本台帳上の人口は4万9千人台で、今後4年間の市長等の報酬額を検討する上で、Ⅱ-2で比較検討するのか、実際の人口からすると一つ下のⅠ-2で検討するのか、Ⅱ-2にする根拠を教えてください。</p>
事務局	<p>国からいただく、交付税等は、色々な算出方法により決定していくが、主に人口から算出するケースが多いため、一旦は、人口という大きな枠組みでとらえ、総務省の定める類似団体である「Ⅱ-2」で検討したいと考えている。</p>
委員	それを根拠にするとのことによろしいか。
事務局	はい。
会長	<p>比較する上で、他の類似団体についても人口減少していても同じⅡ-2ですから、相対的には、同様かもしれない。さぬき市だけを下の分類のところになると相対的に規模が下がってくる。また、住民基本台帳上の人口と統計上の人口は異なってくるので、一旦は、現在の分類でいいのではないか。</p> <p>他には質問ありませんか。</p>
委員	特には、ありません。

委員	一般行政職の給与水準に、ラスパイレス指数もあるが、全国的に見てどうなのか。
事務局	全国様々で高いところは、100を超えるところもたくさんあるが、用意している資料のラスパイレス指数からすると類似団体の中では、高い水準で、県内の中では、中間的な位置となっている。
委員	一般的なことだが、合併特例債があつて、基金を取り崩していく状況を聞くと不安感はある。
会長	先程の経常収支比率について、数値が出たようならお願いします。
予算調整室	先程の経常収支比率の92.7%については、7頁に表示して言える数字だけでは出ない。分母の方は、経常一般財源、臨時財政対策債の合計で約152億8千万円。分子が歳出の方で、人件費、扶助費、公債費の一般財源部分、物件費の中で一般財源部分にあたる額で、約141億5千万円程度。それで計算していただくと出ると思う。
会長	それでは、本題である報酬額等について、話し合いたいと思う。まず、3役の給料について、委員の皆様から御意見を賜りたい。
委員	さぬき市は、一旦持ち直した時期もあるが、現在はそんなに好景気ではない。そのような中、給与が10年以上ずっと一緒と言うのは、主婦の感覚からすると分からない。いくら自主的減額措置があつたとはいえ、収入と支出のバランスからすると下げるべきだと思う。 私たちが、将来の市民に市を引継いでいく中で、今後10年先、20年先を考えた時に、南海トラフ地震の発生で大きな被害が出るのが予想される中で、余力を持っていないとやっていけない。子どもたちに残すものがないというのは、どうしようもない。だとすると、申し訳ないけれども市長・副市長の方々には、身を切っていただきたい。
委員	私だけが思うことかもしれませんが、市長と副市長の仕事の差について。市長は見えるが、副市長は見えてこない。副市長はどのようなお仕事をしているのか。
事務局	副市長は、市長の代わりに様々な会議に出席し挨拶したり、色々な意見

	<p>を聞いたりするなど代理的な意味がある。本来の副市長の仕事は、市長を補佐することであるので、内部の様々な意見調整が多いかと思う。ですので、大きくは、市長の代わりの仕事と内部調整があると思う。職員がいて、課長、部長いるということで、それぞれの部の中で調整が付く仕事もあるが、部の間で調整していかなければいけない業務もある。そうした、内部調整を副市長にやっていただいている。</p>
委員	副市長は、市長が指名して副市長になるのか。
事務局	はい。副市長を選ぶに当たっては、市長の考えがまずあり、議会の承認を得る必要があるので、そういった手続を経て決定している。
会長	他にご質問はあるでしょうか。
委員	坂出市は、平成26年に市長の報酬額を8万8千5百円程度上げているが、これは、どのような理由か分かるか。やはり、報酬等審議会の答申によるものなのか。
事務局	そうかと思う。
委員	<p>全般的なことで、平成15年以降、報酬額がずっと一緒だが、直近で報酬を上げているのが丸亀市であり、その報酬の上げ方が、市長、副市長及び教育長は、月額で2千円アップ、議員さんは、月額千円アップなど少額からでもアップしている。これも、報酬等審議会で答申を得たものと思うが、アップしている。</p> <p>東かがわ市では、平成17年に4万円アップ、三豊市で、平成26年に9万3千円アップ、坂出が、平成26年に8万8千5百円、高松市は平成18年に1万1千円減額し、丸亀は先ほども述べたように2千円増額とそのような状況である。先ほどの説明で、消費者物価指数の上昇もある。そういった関係も考慮し、3役の給料については、平成15年からの約15年変わっていない。そこで、私の意見の結論としては、少額からでもアップしたらどうかと考える。</p>
会長	千円くらいでしたら、一般職の給与のアップに合せたのかもしれない。
委員	今までが高すぎたとは思わないか。

委員	私が考えるには、市長・議員と言うのは、ある程度報酬がなければ、魅力ある職にならないのではないかと思う。有能な人がなろうと思わなくなるのではないかと思う。
委員	報酬額だけでなく、さぬき市のためを思ってやってくれる人が担い手になってくれればいいと思う。
事務局	少し説明を付け加えると、丸亀市が報酬をアップした理由について、特別職報酬等審議会の答申書の写しを頂いており、その内容によると、市長などは、リーダーシップの発揮や責務の重さなどを勘案して報酬額を上げるとの意見をまとめているようだ。報酬額のアップ率の根拠は、合併以降の人事院勧告の勧告率の累計等を参考にして算出しているようである。
委員	丸亀市は、13年ぶりに3役の報酬額を2千円、議員で千円上げている。
会長	資料からすると、ずっと報酬額が変わっていないように見えるが、一度合併当時くらいに改定をしているのか。
事務局	平成15年に改定しており、その前までは、市長が93万、副市長73万、教育長が62万でそこから減額しており、逆に議員の方は、議長が40万、副議長が35万、議員が27万だったので、改定により増額している。
会長	平成15年に一度改定しているのでいいか。
事務局	はい。
会長	他の方はどうでしょうか。
委員	私は、事業所をしており、役所でいう市長とか副市長などの役職の立場である役員というものをしてしているが、リーマンショック等があると一気に報酬額は半額に減額されて、私は未だに減額のままである。これを見ると15年間、報酬額が据え置きのままであることは、一般の事業所の人間からすると羨ましいなと思う。だから、報酬額は、下げるべきかと。

	<p>財政調整基金の取り崩しの話があり、ある程度基金はお持ちだとのことだが、その基金が増えていくことは、財政力などからすると限りなく可能性が低いように思う。また、これから起こりうる大規模な自然災害などのことを考えると、復旧する財源等も少ないとなるとどうなるのか不安になる。3役の報酬額を少し下げたからと言って補填されるような額ではないが、一般市民の感情からすると増額と言うのは、ちょっと待てよ！という風になる。</p> <p>私も事業所をやっているので、非常に悩ましい状況があり、私も給料を下げている状況ではあるが、商売をするには、収支のバランスを取る必要がある。私も3代目だが、今後、やっていけるか不安なところはある。やはり、儲かっていない時には、それなりに給料を下げるなど何か工夫していかないとなかなか続かないというのも分かる。</p> <p>3役の報酬額は、過去15年間変動なしとのことで、物価が上がった時代もあったのに変動なしのことだった。女性の委員さんが仰る意見は、これだけしかお金がないのに、給料を上げることはおかしいとの意見かと思うが、私は、物価の変動等がある中で、逆に15年間同じというのは、少し違和感がある。今あった、千円でも2千円でも上げたところもあるようだが、3役が千円2千円上がったところで、そんなに影響がないかと。これを10万・20万とぐっと下げる話になると、3役でもかなりの額を確保できるとは思う。</p> <p>しかし、3役はかなりの重責かと思うので、そういった職の人が15年間まったく同じというのは、どうかと思う。私は、多少上げてもいいのかと思う。やはり、仕事するという意味では、お金目的ではないと言いつつも、ある程度の報酬があることで、ひと踏ん張りしようかという気概というかやる気を多少なりとも生み、少しでもさぬき市がいい方向に向かうことへ期待を込めて、3役の報酬額は、若干でも上げてはどうかという気はした。</p>
委員	<p>これだけ、上げる、下げるの意見が出ると難しい。</p> <p>まず、消費者物価指数の動きで、10年間3役の報酬額が変動していないとのことだったが、10年前どうだったか考えてみると、さぬき市で生活している分には、資料で示されている指標のような大きな変動は感じなかったと思うので、この消費者物価指数を参考に話をするのは、どうなのかな？と思う。</p> <p>9頁の財政力指数を見ると横ばいに見えるかもしれないが、上がって</p>

委員	<p>ないというところと他市と比較すると非常に低い状況にあると思う。衰退していると言われている市とあまり変わらない数値であることと、報酬額を過去10年間ほど上げられなかったことを考えると、もう少し3役さんに頑張ってもらいたいと思う。</p> <p>人口がそんなに変わらない市でも財政力指数が0.85で、どのように頑張っているのか、市民としては興味がある。</p> <p>この財政力指数を横ばいで努力しているか、もう少し頑張らないと上げて欲しいと取るのか、私は、期待を込めて、据え置きの意見とする。下げる意見も出たというの踏まえて据え置きで。</p> <p>余談だが、私たちは外部評価と言うのをやっているのが、さぬき市の現状を御存じの市長や副市長はどのように考えているのかお伺いされたことはあるか？</p>
事務局	事務局では分からない。
会長	3年前ですか、同じように審議会を行ったが、市の職員の規模を考えて、それだけの従業員を抱えている社長と言うことになると、かなりの重責だということ鑑みて、上げるべきではないかとの意見が前回出たが、その時は、自主的に何%か減額しているとのことで、現状維持になり、最終的に現状維持となったと理解しているが、他に御意見は？
委員	<p>私の仕事上、高校の校長の給料を調べて記録に残してきたことがあった。一番高かった時は、平成13年、14年頃に退職した校長は、52、53万程度であった。その後、大きく下がり、5年ほど前は、47万程度だったかと思う。その間に、何%かカットがあつたりした。市長でいうと、93万から90万になったその下がり幅は、小さかったが、色んな世論の働きで、減額等があつて推移しているので、上げる判断になれば、さぬき市は、給料も上がって、健全な財政ですよと言うことの表明になると考えると、報酬額は、据え置きにして、今後、財政状況が悪くなれば、途中で自主的に減額するなど対応をしていってはどうかと。千円、2千円のアップはなかなか厳しいかと。個人的には、市長のお仕事見ていると大変だとは思いますが、下げるべきと意見も多い中で、上げるという意見を出すのは、審議会としては難しいのかなと。</p>
会長	皆さんの意見を聞いていると、下げた方がいいという方が2名、上げた

委員	<p>方がいいという方が2名、据え置き意見が3名ということになった。市民目線からすると、報酬額が長年据え置きのままで、下げてはどうかとの意見ももつともだと思うが、3役が重責であることを鑑みて、答申の中には、厳しい意見が出たことを記した上で、多数決で現状維持との意見にまとめてはいかがでしょうか。</p> <p>色々な意見はあるとは思いますが、3役については、厳しい意見を記したうえで、現状維持との意見でまとめてもよろしいでしょうか。</p> <p>報酬額を上げるか、下げるか、現状維持かを決めることが、審議会としての一番の仕事になるので。皆さんいかがでしょうか。</p> <p>現状維持になりそうなので、少しだけ意見を言いたいと思う。</p> <p>子育て世帯が、三木町や高松市に流れて行った問題、これは、10年前に市長に言ったことがある。子育て世帯が、他の市町に家を構えている。このまま子育てに力を入れなければ、さぬき市は、危ない。と言った時に、そんなことはない。と市長には相手にされなかった。今年になって、子育て世帯がいなくなっている話がチラホラしてきているのを考えたら市長は、子育ての施策は失敗されたのだと思う。ふるさと納税も制度ができてから何年にもなるが、ふるさと納税に取り組まれている市町は、それで副収入として得ている。これも話をしたら、あれは、原則とは違うからと言われて、原則と違うのかと思ったが、隣の東かがわ市が、ふるさと納税で、3億円得てかなり大きな資金となったと聞いた時、すごく悔しかった。先を見る目が少し足りないのではないのかなと、それは、政策の失敗であり、市長の失敗だと思う。</p> <p>もう一つ、副市長だが、社協がきちんと健全な動きができていないのは、今トップである副市長がきちんと見てないからではないかと。社協は、割と高齢者の方が運営されているみたいで、事なかれ主義で、大きく変えるのは嫌だという意見が多いようである。間で担当者が入れ替わり立ち代わりして、新しい案を提示しても、全て、従来どおりで改革できないという話を聞いた時に、社協の改革の失敗は、トップである副市長が失敗だと思った。</p> <p>教育長だが、どの地区でも良い噂を聞かない。そういうふう一般市民が不信感を抱いているのは、教育長の失敗だと私は思う。</p> <p>割と市民は見ている。誰がどういった失敗をしているか市民は、分かっている。</p> <p>市民は働いたり子育てしたりしているので、こういった会議に出て意見を言う市民は少ないとは思いますが、発言する機会の場合に参加できないだけ</p>
----	--

	<p>で、確かに市民は、さぬき市に落胆している。だから、市議会議員選挙にも市長選挙にも人が出ない。</p> <p>そういう風に考えていただければ、この審議会には関係ないが、さぬき市の方向性を少し考えていただければと思う。</p>
委員	私も現状維持だったら、社会福祉協議会運営の仕方だが、他の県でも社会福祉協議会のトップは、市の職員になるのか？
事務局	市によって異なると思う。
委員	<p>他の自治体を見ていると社会福祉協議会の建物は、市とは分離されているようなイメージだが、ここは、常に市と社協が一体となっているように見える。私から見たら、行政職という甘えかと思う。</p> <p>現状維持とは言ったが、市長は今日の内容の報告を受けると思うが、厳しい意見がある上での現状維持と言うのは、市長の人柄からすれば、色々考えられるとは思うが、すごく意味深な内容になると思う。</p> <p>香川県自体が、小さい県で、その中の市で、限りあることではあるが、人口が減っているということもあるので、地域活力向上が重要課題になると思うので、そういったことも記載していただければと思う。市民サービスを一番に考えた上での行政を考えてほしいと思う。</p>
会長	具体的に書く必要はないとは思うが、そういった皆さんの意見も付け加えて、全体的な意見を集約した結果、据え置きとのことでよろしいでしょうか。
全委員	〈賛同の声〉
会長	<p>議員さんの報酬については、次回の会議で話したい。</p> <p>それでは、その他ということで、次回の日程について、事務局から何かあるか。</p>
事務局	事務局で考えているのは、できたら、今月25日（木）の午後1時30分で御都合いかがでしょうか。
全委員	大丈夫です。

会長	他には何かあるか。
事務局	次回日程については、案内文を後日送付する。
会長	委員さんからは何かあるか？
委員	次回の議長等の報酬額について考える上で、何か指標になるものはあるか。他市との比較しかないのか？
事務局	基本的には、他市との比較になるかと思う。逆に委員さんの方で必要な資料があれば、教えていただければと思う。
委員	議員さんの会議への全体の数で構わないので、出席状況が知りたい。
事務局	分かりました。
会長	それでは、今日のところは、3役について、現状維持でいいということで、ただし、答申内容は厳しい意見が出た旨を記載させていただくということによろしいでしょうか。
委員（全員）	はい。
会長	以上をもちまして、本日の会議は終了したいと思います。本日はありがとうございました。 〈終了〉